



城南家保ニュース Vol. 17-1

熊本県城南家畜保健衛生所 平成17年 4月 発行

TEL: 0966-22-3814 FAX: 0966-22-3617

牛サルモネラ症に注意しましょう！！

牛のサルモネラ症とは・・・？

サルモネラ菌による下痢、敗血症を主徴とした急性伝染病です。

子牛がかかるとしばしば流行的な発生になります。また、最近では搾乳牛を中心とした成牛のサルモネラ症の集団発生が増加する傾向にあります。

原因は？ サルモネラ菌（細菌）

（サルモネラ・ティフィムリウム（ST）、サルモネラ・エンテリティディス（SE）
サルモネラ・ダブリン（SD）など）

ST、SE およびSDによるサルモネラ症は監視(届出)伝染病です！！

症状は？

子牛：発熱（40～42℃）、下痢（悪臭を伴う黄白色水様および血便など様々）、急性例では敗血症による死亡。

成牛：下痢（悪臭を伴う）、発熱、乳量低下および早・流産など

侵入経路は？

保菌牛の導入やサルモネラに汚染した飼料および物品などを介して侵入します。

また、一度農場内に侵入すると、発症牛が排泄した糞便に汚染された飼槽やほ育器具などを介して広がります。

サルモネラは発症すると、清浄化が大変難しい病気です。

ということは、 **予防がとても重要です！！**

予防方法

- ① 導入牛はしばらくの間隔離して、十分な観察を行う。
- ② 踏み込み消毒槽を設置し、履き物の消毒を徹底する。
- ③ 飼槽、水槽、ウォーターカッブなどはこまめに掃除する。
- ④ 予防的に生菌剤を用いる。
- ⑤ 家畜にストレスを与えない環境にする。

外部からの持ち込み、まん延の防止！

生菌剤はサルモネラなどの病原菌に競合的に働き、腸管内での病原菌の定着を抑制します。

血便、下痢便など疑われる症状が発現したら、

直ちに獣医師、家畜保健衛生所まで連絡を！！！！

人事異動

定期人事異動等で新たな体制となりました。
これからもよろしくお願いいたします。

職名	転入者	旧所属
所長	杉谷 義博	中央家畜保健衛生所
防疫課長	島村 勝則	阿蘇家畜保健衛生所
参事	濱田 公男	中央家畜保健衛生所

職名	転出者	転出先
所長	栗崎 進一	(退職)
防疫課長	大倉 昭信	西原公共育成牧場
参事	福田 晴夫	阿蘇家畜保健衛生所